

平成の、その先の時代を切り拓く

日本を取り戻す

「人口が減少する日本は、もう成長できない」—6年前、日本中を「諦め」という高い壁が覆っていた。ここから、私たちの「日本を取り戻す」戦いが始まりました。

そして、新しい朝を迎えた

5年半、皆さんと共に、「三本の矢」を放つことで、人口が減少する中でも、経済は10%以上成長しました。

今、地方の税収は過去最高です。子ども達の教育に投資した結果、子どもの貧困率も初めて減少しました。この春高校、大学を卒業した若者の就職率は過去最高水準。有効求人倍率は、史上初めて、47すべての都道府県で1倍を上回り、誰にも働く場所がある真つ当な経済を、私たちは取り戻しました。

地球儀を俯瞰する視点で、延べ140か国以上を訪問し、600回を超える首脳会談を重ね、各国首脳と深い信頼を構築してきました。厳しい批判の中でも平和安全法制を成立させました。助け合える同盟はその絆を強くする。日米同盟は、今、かつてなく強固となっています。世界で保護主義の懸念が高まる中、日本は、TPP、欧州とのEPAを主導し、世界の中で、新しい時代のルール作りをリードしています。日本は今、世界から信頼、尊敬を集め、世界のど真ん中で大きな存在感を取り戻しました。

5回の国政選挙で頂いた安定的な政治基盤の上に、日本は新しい朝を迎えました。

歴史の大きな転換点～

今こそ、日本の明日を切り拓く時

来年は、歴史的な皇位の継承、そして、トランプ大統領、プーチン大統領、習近平国家主席らを迎え、我が国が初めて、G20サミットの議長国を務めます。更に翌年には、東京オリンピック・パラリンピック。日本は、まさに歴史の大きな転換点を迎えます。

今こそ、日本の明日を切り拓く時です。平成の、その先の時代に向かって、日本の底力を解き放ち、少子高齢化、激動する国際情勢に真正面から立ち向かう。子ども達が「この国に生まれて、良かった」と思えるような、希望にあふれ、誇りある日本を創り上げ、次世代に引き渡す決意です。

安倍晋三

希望にあふれ、誇りある日本を

頑張った人が報われる経済成長

世界に先駆けて「第四次産業革命」を実現し、日本経済の新たな地平を。

●三本の矢でデフレ完全脱却を実現。AI、ロボットなど最先端のイノベーションで生産性革命を起こし、人づくり革命で誰もが夢に向かって頑張れる経済を創ることで、戦後最大のGDP600兆円を実現。

すべての世代が安心できる社会保障改革

少子高齢化に真正面から立ち向かい、一億総活躍の社会へ。

●子ども達、子育て世代に大胆に投資し、先の衆院選で公約した教育の無償化を成し遂げる。

●現役世代の負担軽減のため、成長と分配の好循環により、希望出生率1.8、介護離職ゼロの実現を目指す。何度でもチャンスがあり、多様性に満ちあふれた、女性活躍・一億総活躍社会を創り上げる。

●いくつになっても、意欲さえあれば、学び、働くことができる。生涯現役、生涯活躍の社会を実現するため、労働制度をはじめ社会保障制度全般の改革を進める。

美しく伝統あるふるさとを守り、次世代へ引き渡す

ふるさとの特色を活かし、若者にチャンスあふれる、強靱な地方を。

●新しい挑戦を後押しする農林水産業全般にわたる改革、中小・小規模事業者の生産性革命、訪日観光客4000万人の実現によって、全国津々浦々で、チャンスあふれる地方創生を展開。

●人口急減地域や中山間地域・棚田地域への支援を強化する。少子高齢化に対応した地方自治の在り方について、行政、財政、税制全般にわたり検討を進める。

●新幹線や高速道路などの交通ネットワークをつなぐことで、北から南まで全国を一つの経済圏に統合する「地方創生回廊」構想を進める。

●東日本大震災、熊本地震からの復興、西日本豪雨からの生活再建、災害対応に万全を期す。近年の集中豪雨、気温上昇など気象の急激な変化に対応し、全国的に、河川の改修、治水、砂防対策、ため池改良、熱中症予防など、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を、3年間で集中的に実施。

新しい時代のアジア太平洋の平和と繁栄の礎を築く

激動する国際情勢の荒波を乗り越え、戦後日本外交の総決算へ。

●北朝鮮の拉致・核・ミサイル問題を解決し、過去を清算して国交正常化を目指す。領土問題を解決して日露平和条約を締結するとともに、日中関係を新たな段階へと押し上げることで、新しい時代の北東アジアの平和と繁栄の礎を築く。

●TPPや欧州とのEPAをはじめ、新しい時代の世界のルール作りを、我が国がリードして進める。

●日米同盟を基軸に、豪印など価値観を共有する国々と、自由で開かれたインド太平洋戦略を推進。

憲法を改正し、平成の、その先の時代を切り拓く

自衛隊明記、教育無償化など衆院選で公約した4項目につき、次の国会に党として改正案を提出できるよう党を挙げて取り組み、早期発議を目指す。

安^あ倍^べ晋^{しん}三^{さん}

略歴

- 生年月日 1954年9月21日
- 1977年 成蹊大学法学部 政治学科卒業
- 1979年 株式会社神戸製鋼所入社
- 1982年 外務大臣秘書官
- 1993年 衆議院議員初当選
- 2003年 自由民主党幹事長
- 2004年 自由民主党幹事長代理・党改革推進本部長
- 2005年 内閣官房長官 (第三次小泉改造内閣)
- 2006年 第90代 内閣総理大臣
- 2012年 第96代 内閣総理大臣
- 2014年 第97代 内閣総理大臣
- 2017年 第98代 内閣総理大臣